

# Weekly コラム

平成 27 年 3 月 3 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 2015 年問題

ゴルフ業界 2015 年問題を聞いたことがありますでしょうか。2015 年頃からゴルフ人口の長期減少化の影響が顕著になり、倒産するゴルフ場が続出しかねないという問題のことを言います。その背景には少子化によってゴルフ対象人口が減少するという問題があり、さらには団塊の世代の高齢化や若者のゴルフ離れが大きく影響すると考えられています。どれくらい減少しているかと言いますと、2001 年のゴルフ人口約 1300 万人から 2015 年は約 750 万人に減少すると言われています。

実は日本人の約 35% はゴルフの経験者です。しかし、その経験者の中で継続してゴルフをしている人は約 28%、日本全体人口の約 8% 程度になります。ゴルフをしない理由の第 1 位はやはり「お金がかかる」です。近年のゴルフ料金は一時に比べれば遙かに手頃になったものの、それでもまだ高いと言えます。その原因の一つに挙げられるのがゴルフ税です。ゴルフ税はゴルフ場でプレーした際に課される都道府県税で、標準税額は 1 日 1 人 800 円(上限は 1200 円)です。その額自体高いものとは言い難いのですが、スポーツをするのに税金がかかるのはゴルフだけですので、不公平であるという声が根強くあります。また、消費税とゴルフ税が二重課税である、という意見もあります。それらの意見から、廃止しようとの案が 2014 年 12 月にも出されたのですが、総務省や地方自治体などが

反対し、2015 年の税制改正では廃止が見送られました。

ところで、一番減少傾向にある若いライトゴルファーが参加する条件として三つの要素が必要だと言われています。その三つの要素は「①気軽にできる ②一人でもできる ③安い料金でできる」です。そのようなニーズに合わせて日本のゴルフ場では「一人予約のプレー」の人气がでてきているようです。メンバーシップのゴルフ場でプレー前日でもエントリーが可能です。予約したゴルファーをそのゴルフ場が組み合わせてラウンドできるようにするというものです。このようなコースが今現在全国に約 300 コースあるといわれています。

ゴルフは 2016 年のリオデジャネイロオリンピックから正式競技に復帰することが決まり、2020 年の東京オリンピックでも開催されます。このままいくとその開催される 5 年後には競技人口減少により、ゴルフ場の減少が予測されます。オリンピックが盛り上がる裏側で、倒産したゴルフ場が問題化される様では国家のモラルが問われます。本年はそれを考えるきっかけである 2015 年です。ゴルフ税の事など、議論が良い方向に向かう事を願っています。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。